

既存保有機械を自社オリジナルで開発した自走式掘削機です。高トルクのロータリーヘッドと押し込み力の大きな削孔装置を備えた油圧式万能型大口径掘削機を用いた工法です。ケーシング回転による切削力が強く、フリクションカットができます。相判クレーンにハンマークラブを装着し用途に応じて、組み合わせる事により、硬質地盤・岩盤削孔及び既存杭や地中障害物の撤去ができ効率よい掘削ができます。

本体外観図

1820-TK	
機体高さ	14,070cm
左右クローラ幅	3,750cm
機体長さ	8700cm
運転重量	50.4t
最大削孔径	1,500mm
削孔深度	14m
最大トルク	118KNm
最高回転数	32rpm
ケリーラインプル	—
クラウド挿入/引抜き	300/300KN
エンジンメーカー/形式	H06CT型ディーゼルエンジン
エンジン馬力	150PS



特長

- 低騒音、低振動で施工が可能です。
- 高トルクな回転力により、岩盤、転石、玉石等の掘削や鉄筋コンクリートの切削が可能です。
- ケーシングチューブにより掘削孔の防護を行いながら内部を掘削していくため周辺地盤への影響が少ない。
- ケーシングチューブ内部の転石や障害物等を相判クレーンにハンマークラブを装着させ、完全に取り除く事が確実にできます。
- 隣接建物ならびに敷地境界との離隔が比較的少ない寸法での施工が可能です。(離隔10cm迄対応可能)
- ケーシング削孔の為、その剛性力により高い鉛直性が得られ、全周回転するのでフリクションカットに優れています。
- 自走式の為、機動性に優れています。